

# 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について

- ▶ ワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、主に以下のような副反応が生じる可能性があります。（下段はファイザー社製ワクチンの国内臨床試験による発症割合）
  - ▶ **注射した部位の腫れや痛み（当日に現れ2日くらい続く）**
    - ▶ 注射部位疼痛：1回目 86.6% 2回目 79.3%
  - ▶ **頭痛、筋肉痛、関節痛（多くは接種翌日に現れ1日程度で治まる）**
    - ▶ 頭痛：1回目 32.8% 2回目 44.0%、筋肉痛：1回目 14.3% 2回目 16.4%、関節痛：1回目 14.3% 2回目 25.0%
  - ▶ **疲労（倦怠感）、悪寒、発熱（多くは接種翌日に現れ1日程度で治まる）**
    - ▶ 疲労→1回目 40.3% 2回目 60.3%、悪寒→1回目 25.2% 2回目 45.7%、発熱（37.5℃以上）→1回目 14.3% 2回目 32.8%
- ▶ 上記のような症状が出て数日してもよくなる場合や症状が重い場合は、ワクチンを接種した医療機関やかかりつけ医にご相談ください。
- ▶ 副反応を含むワクチン接種に関する相談窓口は以下のとおりです。
  - ▶ 岩手県：0120-89-5670（新型コロナワクチン専門相談コールセンター、フリーダイヤル）